

五島市について

●市長からのメッセージ

みんなの力で五島を豊かに！



平成26年度は、合併後10年を迎えた区切りの年でありました。平成27年度は、五島市の人口減少対策に踏み出す新たなステップの年にしたいと思えます。

妊娠・出産支援として不妊治療を行っている夫婦の助成、子育て支援では乳幼児福祉医療費助成制度

の拡充、保育料では多子世帯の負担の軽減を図ります。

定住促進・雇用創出事業として、空き家バンク制度の創設を柱とするUIターン促進事業を実施します。

再生可能エネルギー推進事業としては、久賀島沖が潮流、杣島沖が浮体式洋上風力の実証フィールド海域に選定されたことを受け、利用者確保のため、県と連携しながら誘致活動を行います。また、昨年8月に策定した「五島市再生可能エネルギー基本構想及び基本計画」では、五島海域における浮体式洋上風力発電の実用化を目指すこととしており、今後最も成長が期待されている水素事業分野にも取り組み、再生可能エネルギー関連産業の創出を図るものです。

長崎の教会群とキリスト教関連遺産の世界遺産登録については、1月22日に正式版推薦書がユネスコ世界遺産センターへ提出されました。27年9月頃にはイコモス

の現地調査が実施されますが、国、県及び関係団体と連携を図りながら、長崎の教会群とキリスト教関連遺産の世界遺産への登録実現に向け、最大限の努力をしていくものです。

五島市は日本有数の椿の自生地、椿は島のシンボリックな地域資源であり、また、五島列島は「椿による五島列島活性化特区」に指定されています。日本一の椿の島づくりを目指して、椿の自生林の整備及び耕作放棄地等への苗木植栽等を行います。

8月24日から28日までの予定で、全国離島交流中学生野球大会が五島市で開催されます。五島市の「おもてなし」の心で全国離島の中学生をお迎えしたいと考えています。

地域の絆再生事業は、それぞれの地域の特性を活かしたまちづくりを推進する協議会に対して「地域の絆再生交付金」を助成します。26年度まではモデル地区の3地区のみで実施していましたが、27年度からは市内全域に拡大し、公民館を単位とする13の協議会に対して交付します。また、各地区に配置した集落支援員を活用することで、地域の絆再生事業の効果的な事業展開を図るものです。

(平成27年3月五島市議会定例会に関する記者発表より抜粋)

長崎県五島市長 野口 市太郎

1 五島市市民憲章

わたしたちは、美しい自然と、古代からの歴史に満ちた五島市の市民であることに誇りを持ちます。そして、ふるさとの伝統と文化を愛し、個性豊かな島づくりをめざして、ここに市民憲章を定めます。

◎青い海と緑の島の風土を愛し、豊かな自然を大切にしましょう。

◎希望と活力に満ち、心身ともに健康な毎日を過ごしましょう。

◎一人ひとりが思いやりをもち、共に生きる明るい社会を築きましょう。

◎歴史と伝統を学び、創造的で新しい文化を育てましょう。

◎人の和の広がるまちをつくり、永遠の平和をめざしましょう。